

# ゆたか倶楽部 ものがたり

ボン・ボヤージ!..... **最終回**

「クルーズのゆたか倶楽部」は1984年に創業。日本クルーズ業界の黎明期から現在までを同社創設者・クルーズマスターの松浦睦夫氏が同社の歴史とともに語る。

2010年、商船三井客船の「つぼん丸」が大改装をしました。船体はロイヤルブルーを基調とした色に変わり、食にこだわる船として、上級客室専用のダイニングや寿司コーナーが設けられ、軽食コーナーにはゴディバのショコリキサーやハンバーガーなどのメニューが充実。サービスを含めすべてのグレードが上がりました。個人的には（後部デッキの構造が変わり）デッキランチができなくなったことは残念ですが、改装の結果どのクルーズも上級客室が早くに満室になるようになったので、お客様には早めにご予約されるようお願いいたします。

う勧めはじめました。2010年には「ふじ丸」を1年間に7回チャーターしました。4月の「ふじ丸」で航く春の日本海四島めぐり奥尻・佐渡・隠岐・嵯峨」の実施にあたっては、1993年の北海道南西沖地震の被害が大きかったと聞いていた奥尻島へ。津波館を中心に2回下見に訪ねました。寄港当日はテンダーボートでの上陸を予定していましたが、低気圧の影響でうねりが発生し、上陸を断念しました。前年「つぼん丸」のチャーターでも奥尻島には上陸できず、リベンジだったのですが、代替港として富山の射水港（富山新港）に入港することになり、射水市の夏野元志市長は東京出張のところ急きょ駆け付けてくださり、「おわら風の盆」の踊り手の方々を集め歓迎してくれました（奥尻島はその後2017年「ばしふいっくびいなす」のチャーターで初寄港となり、念願が叶いました）。

## 大震災でクルーズ中止

2011年は3月の東日本大震災により、ゴールデンウィークに実施予定だった「ふじ丸」で航く弘前の桜まつりと函館・石巻クルーズ」を中止にいたしました。これによりふじ丸は親会社の商船三井が行った被災地支援活動に従事することに。大船渡、釜石、宮古を訪れ、4451人の被災者に食事や入浴のサービスを無料提供したのは有名な話です。ライフラインが復旧しやつと石巻市の担当者と話ができたとき、近い将来に必ず寄港すると約束しました。2012年にはふじ丸を9回チャーターしました。うち4回は前年世界自然遺産に登録された小笠原へのクルーズでした。この年のニューイヤーカーターには「宮古島・石垣島・沖縄」を実施しました。個人的に大ファンである歌手の島倉千代子さんへの再三再四の出演依頼がようやく叶い、乗船していただけることに。その後1年ほどで亡くなられたときには涙しましたが、大きな思い出を残していただきました。

## 創業30周年

2013年は弊社の創業30周年「クリスタル・セレニティ」の地中海横断32日間を記念クルーズとして実施しました。旅行代金が130万円と高額にもかかわらず48名

様に参加いただきました。その後クリスタルは日本郵船の子会社ではなくりましたが、サービス、料理とも世界トップクラスの中型船であり続けていることはうれしいう限りです。12月には創業30周年の記念式典を兼ね、「飛鳥II」でワンナイトチャータークルーズを行いました。食事は交替なしの一回制にこだわりの400名様の限定募集に。メイシヨは何度もチャーターにご乗船いただいているペギー葉山さんと菅原洋一さんのお二人にお願いしました。2013年6月に引退の決まったふじ丸の、スケジュールが埋まっていなくてをすべて弊社でチャーターしたいと申し出て、半

年間で10回チャーターしました。1月4日発の「伊勢神宮初詣と館山クルーズ」からはじまり、4月10日発の「韓国・鎮海のさくらクルーズ」、5月7日発「初夏の日本一周クルーズ」、5月26日発「瀬戸内海島めぐり20」に加え、「小笠原クルーズ」は計5回を実施。6月30日発「初島」をラストクルーズとしました。日本一周クルーズでは2年前に東日本大震災で寄港できなかった石巻港へ約東通り寄港し、大歓迎を受けました。ラストクルーズは本来船会社が主催するものですが、日本チャータークルーズは主催旅行を企画するライセンスを持っていないため、弊社がさせていただきました。講演は神戸での同船建造に携わった

三菱重工の元船舶・海洋設計部長の小林幹弘氏に依頼しました。座談会形式のトークショーでは、同船デビュー時の船長・澤山恵一氏、チーフパーサー・佐藤利男氏、総料理長・谷内尚武氏、元・商船三井客船常務取締役・渋沢忠氏に往時を懐かしみながら語っていただきました。第2部は東日本大震災復興支援オークションとして、入港盾などを出品しました。さらにふじ丸のヘルメット、帽子、海図などをチャリティオークションにかけ売り上げた38万4600円に弊社からの寄付金を足し、計50万円を石巻市へ寄付させていただきました。ラストクルーズが終わった後、母港である東京港晴海ふ頭を出港しドックに向かうふじ

丸を、何人かの方がペンライトを振りいつまでも見送り続けていたことが印象に残っています。小さな貸貸マシヨンの一室を事務所として2名でスタートした会社が、大勢のおお客様のご支援をいただきなんとかここまでクルーズの販売一筋でやってこられたこと自体、感謝の言葉しかありません。私も2015年に70歳になり後進に道を譲り一線から退きました。1970年からクルーズに携わり、日本のクルーズ史の1ページに、自分なりに頑張ってきた気持ちもございます。クルーズファンの皆様にご下船時に「楽しかった」と言っていただけのように、今後も命ある限りクルーズの普及に携わりたいと思っています。（おわり）



左からふじ丸久葉誠司船長、島倉千代子さん、筆者



ふじ丸ラストクルーズの記念写真



ふじ丸の引退記念盾



松浦睦夫(まつうら・むつお)  
長野市松代町出身。1967年大学卒業後旅行会社に入社。1984年「ゆたか倶楽部」創業。海外渡航歴171回、クルーズ業界の第一線に45年間立ち続け、2003年には日本外航客船協会が選定した初代「クルーズ・マスター」の一人に。2015年3月、31年務めた代表取締役を退任。現在は同社オーナー兼取締役。

YUTAKACLUB CRUISES  
http://www.yutakclub.co.jp  
東京本社:TEL 03-5294-6261  
大阪クルーズサロン:TEL 06-6455-0931  
横浜クルーズサロン:TEL 045-227-8211